

YOUTH MANNA

Grace
Community
2024
Be

Acts 2:42



彼らはいつも、使徒たちの教えを守り、交わりを持ち、パンを裂き、祈りをしていた。
使徒の働き 2章42節

2024/8/5(月)

II サムエル記 6章

●ダビデは「神の箱」をエルサレムに運ぼうと決意した。しかし、その途中で神の怒りがウザに対して燃え上がり、ウザは死んでしまった。なぜウザは死ななければならなかったのだろうか？7節の「過ち」が「不敬の罪」とも言えるところから考えてみよう。
●ダビデは主を恐れて、主の箱を自分のところに迎えることはできないと考えた。このことを通して神様はダビデの心を取り扱われたんだ。
●その後、ダビデは神様の箱を喜びをもって迎え入れることができた。ダビデが、人前ということ以上に神様の前に出ていたことから、君はどんなことを受け取る？

2024/8/6(火)

II サムエル記 7章

●ある日ダビデは、自分が杉材の家に住んでいながら、神の箱が天幕に置いたままで良いのかと考えてナタンに相談する。しかし、神様のご計画はダビデの思いつきを遥かに超えたものだったよ。
・神様は人が神の住む家を建てることを願っていなかった。
・ダビデを王としたことも、民を導き安息を与えたのも神様がしたこと。
・神様がダビデのために家を造り、王国を確立させる。

(18節-)ダビデはどんな思いで神様に祈っているだろうか？今、君はどのような心で神様の前に出るべきだろうか？

2024/8/7(水)

II サムエル記 8章

ダビデが6つの地域を征服したことが記されている。ペリシテ人の地、モアブ、ツォバ、ダマスコのアラム、ハマテはダビデに貢ぎ、エドムもダビデの支配下に置かれた。
6節と14節で同じことばが記されている。これらの勝利を与えたのは誰だと書いてあるかな？
アブラハムに与えられた「エジプトの川から大河ユーフラテス川まで」という約束は、千年後のダビデを通して成就した。神様のことばの真実さに驚かされるね。そして、ダビデからさらに千年後、イエス様によって本当の勝利が与えられる。
歴史を作り、主権を持ってこの世界を治めておられる神様をほめたたえ賛美しよう！

2024/8/8(木)

II サムエル記 9章

ダビデはヨナタンと交わした約束を覚えていた(1サム20章)。この世の多く人が自分の代を守るために、将来敵となり得る存在を根絶やしにしようとするけれど、ダビデは違った。ダビデはヨナタンに、そして神様に対して、自分のことばに誠実であろうとした。
ヨナタンの息子メフィボシェテには息子ミカがいて、彼の後に続く子孫は力強い勇士となっていく(第一歴代誌8:34-)。ダビデを通して神様の祝福がヨナタンの子孫に注がれたんだ。

神様は君に対する約束を忠実に果たしてくださるお方だよ。君は神様の前にどうだろう？神様の前に、自分が果たすべき分はあるだろうか？

2024/8/9(金)

II サムエル記 10章

●ダビデはアンモン人の新王ハヌンに家来を遣わすとき、どんな気持ちだったかな？2v
●ダビデの善意にハヌンはどんな形で答えた？4v
●善意が善意として伝わらない時、僕らは落ち着いて相手を見る神の知恵を必要としている。ハヌンの父が残虐な王(1サムエル11章)だった。きみはなかなか分かり合えない人っているかい？セルで分かち合って、一緒に神の知恵を求めていこう！

2024/8/10(土)

II サムエル記 11章

ダビデは今までの苦労や努力、信仰が応えられて、順調にすごしていたけれど、その分心に隙ができてしまったのかもしれない。
ダビデは部下が戦いに行っている中、王宮の良い環境で寝泊まりし、そこで見かけた結婚している女性を欲望のままに呼び入れて、みごもらせてしまったね。しかも、それを隠すために夫であるウリヤを呼び、家に帰るようにさせた。
ウリヤは忠実で良い兵士だったから、その誘いには乗らずにいたけれど、ダビデはそこで彼を戦死させるため部下を使い、ウリヤを殺してしまったんだ。
これはもちろん神様のこころではなかったね。私たち人には上手く物事が行っている時に神様への感謝や誠実さをなくしてしまう弱さがある。その守りのために祈ろう！

2024/8/11(日)

II サムエル記 12章

・預言者ナタンの話(1-4節)を聞いたダビデの反応は？
・他人事のように聞いていたダビデに「あなたがその男です」と言われた瞬間、ダビデが受けた衝撃はいかばかりだっただろうか(7)。ナタンが告げた神様のことばに対して、ダビデはどう答えたかな？
・ダビデは神様の赦しを受けます。しかし、バテ・シェバがダビデに産んだ子は必ず死ぬと言われました。このことは自分の犯した罪の大きさをどのように理解させることとなっただろうか？
◆自分の罪に気づく苦しみは、神様の愛とあわれみに目が開かれる恵みでもあります。詩篇51篇を読んで、ダビデのことばに自分の内面を重ねてみよう。